

会長方針

2020～2021年度

会長 井上 晋一

活動方針

当クラブに入会して7年目となりますが、ロータリークラブに入会しなければ出会う事が無かった方々と出会い、志を同じくする仲間が集ってロータリークラブでなくては出来ない奉仕活動が出来ることを経験致しました。これからは地域社会のために、時代の変化に合ったロータリー活動をする必要があると思います。

今年度のR I会長 ホルガー・クナーク氏(ドイツ)のテーマは【ロータリーは機会の扉を開く】です。そして、「ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、無限への機会への招待です。ポリオ根絶のように大規模で歴史的なプロジェクトから、地域社会でのささやかなプロジェクトや1本の植樹まで、奉仕の機会への扉を開いてくれます。」と述べられています。

今年度、私も寒川ロータリークラブ会長の機会を頂きました。当クラブの50周年に向けた活性化の年になるように石腰幹事と共に1年間クラブ運営して参ります。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

活動計画

1. 会員増強と維持

- ◇地区会員数を2021年7月1日時点で2,500人以上に
クラブとして2名増強
- ◇女性会員比率の向上
- ◇既存会員維持

2. 戦略ビジョン策定の推進

- ◇ロータリークラブの認知度の向上
- ◇長期計画の策定・実行

3. ロータリー財団・米山奨学会への寄付

- ◇年次寄付 200ドル/人
- ◇恒久基金(ベネファクター)1,000ドル以上/クラブ
- ◇ポリオ寄付40ドル以上/人
- ◇米山奨学会寄付20,000円以上/人

4. 姉妹クラブとの交流

- ◇台北士林RC・寒河江RCとの更なる交流